



おすすめの本

11月号

<小学1・2年>

<小学3・4年>



『やせいのロボット』

ピーター・ブラウン作, まえざわ あきえ訳

しょうがくかん
 小学館

どうぶつたちがすむ、しぜんゆたかなむじん島に、しんびんのロボット「ロズ」がながれつきました。どうぶつたちをおてほんにしてくらしはじめたロズは、たくさんのどうぶつとともにだちになりました。あるひ、たまごをひろったロズは、そのたまごからうまれたひなにキラリとなまえをつけて、じぶんのこどものようにそだてることに…。



『きいろいバス』

ローレン・ロング作, 林 木林訳

しよぼう
 あすなろ書房

こどもたちをいえからがっこうへはこぶ、ぴかぴかのきいろいバス。バスのなかには、まいにち、たくさんのこどもたちのわらいごえでいっぱい。バスはよろこびにあふれていました。でも、ときがながれ、バスがふるくなつてうごかなくなると、バスはかわべりのはらっぱのすみっこにおきざりにされ…。

<小学5・6年>



『花の子どもたち』

こてまり さい作
 小手鞠 るい

かん
 フレーベル館

アメリカ・ニューヨーク州郊外の中学校に入学した權。英語にもまだ自信がないのに、討論会の出場メンバーのひとり選ばれてしまった。テーマは銃規制について。7人の子どもたちは、どんな結論を導くのか…。



『17 ひきのマングース』

ヒサ クニヒコ絵と文

こ みの未来社
 子どもの未来社

サトウキビを食いあらすネズミと、農作業のときに出てくる猛毒をもったヘビ、ハブを退治するため、遠くインドから連れてこられたマングースたち。しかし、マングースたちはハブ退治に役立っていないうえ、だんだんと子孫を増やしていき…。

<小学1・2年>



『地下室の日曜日』

むらかみ さい作, 田中 六大絵 講談社

まんねん小学校の地下には、おばけたちのすんでいる部屋がある。外の世界をしりたい地下子さんは、雪女といっしょにひっこしを考えていた。地下子さんがすみたいのは新しくできた18階建てのこうきゅうマンション。でも、そこは3000万円もして…。



『くだものはなはなんのはな？』

みやざき しょうこうせい ぶん あみの ふみ えしゃん いわさきしよてん
 宮崎 祥子構成・文, 網野 文絵写真 岩崎書店

まつぼっくりみたいにくむらさきのはな。くだものはなだよ、なんのはな？ながいのはなまんなかに、ぼちんとうまれた…パイナップル！ねこのしっぽみたいなおばなと、かんむりみたいなめばな。くだものはなだよ、なんのはな？とげとげのいががばくつとわれておちたら、おいしくなったあいずだよ。こたえは…。

<小学3・4年>



『まぼろしの動物ニホンオオカミ』

たけたに ちほみ文, 川田 伸一郎監修, 坂口 友佳子イラスト Gakken

小学4年生の日菜子さんは絶滅動物が好きで、特にニホンオオカミが大好きでした。ある日、博物館の研究施設で、ニホンオオカミに似たはくせいを見つけます。そして、周囲の大人の力も借りて調査を開始。ミステリーのように、はくせいのなぞをさぐり続け…。



『こらしめじぞう3』

むらかみ ちよ かるべ たけひろ せいざんしゃ
 村上 しいこ著, 軽部 武宏 静山社

こらしめじぞうは、世の中のふらちな人間を、こらしめるために作られたじぞうなり。手を合わせ、心の中で、こらしめたいと思う相手の名をとえれば、あなたのかわりにこらしめてくれるぞ。わざと知らないふりをしたり、言葉で人を傷つけたり、おろかなことをすると…。

<小学5・6年>



『探検! いっちょかみスクール 伝説の幽霊サーカス団編』

そうだ おさむげんあん そうだ ゆいさく せいざんしゃ
 宗田 理原案, 宗田 唯作 静山社

魔法使いになりたい少女ユトリに、魔王を倒す冒険家になりたい權。そのヤバいふたりのお目付け役の礼司。そこにやたら運動神経のいい着ぐるみがくわわると、なぜか運命は動きだし…。目指せ! 伝説のサーカス団再結成！



『動物のことばがわかる本』

ドクター・ニック・クランプトン作, エイドリアン・バーマンイラスト, いで さとみ訳 ゆまに書房

きみの家にいるネコの鳴き声の意味を考えたことある？ ホタルがぴかぴかが光っているのはなんの合図なのかな？ イルカ同士はなにを話しているんだろう？ 長いあいだ動物の研究をしてきたニック・クランプトン博士が、さまざまな動物たちのことばやコミュニケーションを理解する方法を教えます。